

社協自主財源（会費・共同募金配分）事業

社協会費は、福祉のまちづくり資金として、共同募金配分金は社会福祉事業の推進を図るための資金として社協の重要な自主財源となっています。

- 社協会費実績額 2,426千円
- 共同募金配分金額 1,714千円

【おもな事業】

地域福祉推進員活動助成、ふれあいいきいきサロン活動助成、福祉教育推進助成、福祉団体等助成、高齢者無料マッサージ事業、ひだまりフェスタの開催、公園遊具の修理・設置助成、車いすの貸出、綿菓子機等の貸出、広報紙の発行など。

福祉サービス利用支援事業**日常生活自立支援事業**

認知症高齢者、知的・精神障がい者など判断能力が十分ではない方に、「福祉サービスの利用援助」や「日常的金銭管理」、「書類等預かり」等の援助サービスを行いました。

- 利用者 32名

相談内容も深刻化、複雑化していることから、資質の向上を目指した研修会の開催や、支援体制の充実を図るため生活支援員の増強に努めました。

高齢者福祉事業**介護保険事業（訪問介護事業、通所介護事業、訪問入浴事業、居宅介護支援事業）**

要介護高齢者の方などの自立支援を目的に質の高いサービスの提供に努めました。

高齢者無料マッサージ事業

ボランティアグループ「療友会」の協力により、無料マッサージ事業を開催しました。

- 菅島地区 24名

通所サービス利用支援事業

離島からの通所介護サービス利用者の送迎支援を行いました。

障がい者福祉事業**総合支援事業（居宅介護事業、同行援護事業、生活介護事業、就労継続支援B型事業、相談支援事業、日中一時支援事業等）**

障がい者及び障がい児の方が自立した日常生活、又は社会生活を営むことができるよう、介護、日常生活援助、社会参加のための支援、就労機会の提供、放課後支援等のサービスを提供しました。

低所得者等対策事業**生活困窮者自立支援事業**

仕事や生活に困っている方の相談に応じ、就労に向けた支援や斡旋、家計の管理支援、また他の福祉サービスにつなげる等、自立に向けての支援を行いました。さらに、各関係団体へ事業説明、「広報とば」

や「福祉ウエーブ」に記事を掲載し、周知啓発を行いました。

地域福祉活動推進事業**第2期鳥羽市地域福祉活動計画の進捗について**

「鳥羽市地域福祉計画及び活動計画推進委員会」を設置し、毎年計画の進捗について反省、意見交換を行い、地域福祉活動計画の内容を深めました。

ふれあいいきいきサロン事業

高齢者や子育て中の母親などが身近な地域で交流し、仲間づくりや健康づくりを行うため、地域住民との連携・協働によりサロン事業を実施しました。

災害時対策事業

災害等の緊急事態発生時に、被害を最小限にとどめ重要な事業を継続、また早期に復旧することができるよう事業継続計画を策定しました。また災害時の高齢者や障がい者等の避難誘導、災害に関する学習、災害に強い地域づくりのための講習会、災害ボランティアセンター運営研修会を開催しました。

ほっとスマイルサービス

住民相互が気兼ねなく助け合う福祉有償ボランティアサービスとして、公的サービスでは対応できないサービスの提供に努めました。

地域福祉推進員の設置

地域福祉推進員を設置し、地域の見守り・訪問活動、サロン活動の協力などをとおし、それぞれの地域の福祉活動を推進しました。

地域福祉懇談会の開催

福祉コミュニティづくりについて話しあうため「地域福祉懇談会」を開催し、市内各地区での福祉活動の取り組みの報告や、住民の福祉ニーズ、地域の活動資源の把握・分析を行い、地域の課題を共有し、課題解決に向けての話し合いを行いました。

28年度は大明東町で開催しました。

総合相談（心配ごと・無料法律相談等）事業

民生・児童委員の協力による心配ごと相談や司法書士・公証人・弁護士による法律相談を実施しました。

- 相談件数 67件

ボランティア活動支援事業**ボランティア団体の育成**

ボランティア連絡協議会とともにボランティアスクールを開催し、ボランティア活動の啓発と地域福祉について学んでいただきました。

市内小中学校福祉協力校に対する活動助成

老人クラブとの交流会、老人介護施設での体験学習及び交流会、町内クリーン奉仕活動、障がい者福祉に対する学習、これらの福祉活動に対してアドバイスを行い、福祉教育の推進及びボランティア意識の高揚に努めました。